

東海防衛だより



2016 / III
東海防衛支局



東海防衛支局の業務・取組み/東海3県の自衛隊の動き

- ◆ C-2 輸送機量産初号機納入式
- ◆ 先進技術実証機 X-2 防衛省に引渡
- ◆ 南海レスキュー28
- ◆ 平成28年熊本地震災害派遣
- ◆ 陸自南スーダン派遣施設隊帰国行事
- ◆ 空自C-130南スーダン邦人輸送へ派遣
- ◆ 平成28年度新規採用職員の紹介
- ◆ 業務説明会・現場説明会の開催
- ◆ 東海3県の自衛隊における行事

東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ カヤバシステムマシナリー株式会社（三重県津市）

地本だより

C-2輸送機量産初号機納入式



C-2量産初号機(川崎重工業(株)提供)

平成28年6月30日、航空自衛隊岐阜基地に隣接する川崎重工業(株)岐阜工場において、若宮防衛副大臣の臨席のもと、C-2輸送機量産初号機(初飛行5月17日)の納入式が行われました。式典は、機体の公開から始まり、川崎重工業(株)の村山会長と若宮防衛副大臣による挨拶の後、関係者一同によるテープカットが行われました。

このC-2輸送機は、我が国が開発した過去最大の機体で、現在のC-1輸送機に比べ、約3倍の約30トンの貨物を搭載でき、航続距離は約4倍の約6500キロメートルです。

このような優れた搭載能力、航続距離などの性能をもったC-2輸送機の開発・製造には、川崎重工業(株)をはじめとして、東海3県の企業など一次下請約160社、二次下請約2300社が参加しています。



挨拶する若宮防衛副大臣

テープカットを行う本橋東海防衛支局長
(右から3人目)

C-2と関係者による記念撮影
(川崎重工業提供)

花束贈呈を受ける監官石倉3等空佐
(岐阜防衛事務所)(右)と受領官瀧野2
等空佐(飛行開発実験団)

先進技術実証機X-2防衛省に引渡



(防衛装備庁ホームページから転載)

平成28年6月18日、航空自衛隊岐阜基地において、先進技術実証機X-2が、開発した三菱重工業（株）から、防衛装備庁に引き渡されました。

このX-2は、4月22日に初飛行に成功したものです。同日午前8時47分に愛知県営名古屋空港を離陸したX-2は、機体のシステムの確認等を含めた約30分ほどの飛行を行い、岐阜基地に無事着陸しました。

X-2は、将来の戦闘機に必要な技術の確認などを行うための試験機ですが、ステルス性と高い運動性が特徴です。その開発・製造には、三菱重工業（株）をはじめ、200社以上の企業が参加しています。



南海レスキュー28



出発準備中の隊員（第10師団提供）



愛知県庁での調整会議

陸上自衛隊第10師団は、平成28年7月5日から7月8日の間、中部方面隊が実施した南海レスキュー28に参加しました。管内の各駐屯地や各自治体で、指揮所演習や実動訓練を行い、南海トラフ地震への対応の向上を図りました。

また、東海防衛支局からも、愛知県庁での調整会議に連絡員を派遣しました。

東海防衛支局施設整備調査チーム

南海レスキュー28に合わせ、建設部門の技術系職員で構成する「施設整備調査チーム」を愛知県春日井市に所在する春日井駐屯地に派遣し、被災した自衛隊施設の調査及び情報収集を行う訓練を実施しました。訓練では、建物応急危険度判定調査を行うとともに、建物内の設備機器、屋外変電設備、建物の被害状況を目視確認、建物応急危険度判定、建物応急危険度判定完了給排水施設等の確認を行いました。

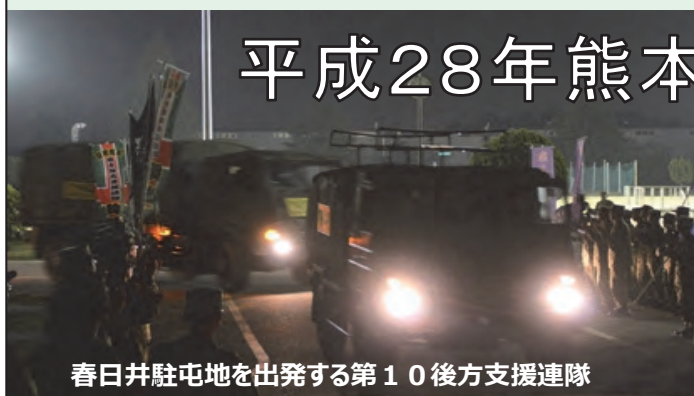


建物の被害状況を目視確認

建物応急危険度判定

建物応急危険度判定完了

平成28年熊本地震災害派遣



春日井駐屯地を出発する第10後方支援連隊



傘をかざして被災者を気遣う女性隊員

平成28年4月14日に発生した平成28年熊本地震に伴う災害派遣に、4月21日から5月12日の間、春日井駐屯地の第10後方支援連隊を中心とした部隊が熊本県に派遣され、約5,620名の被災者に対する生活（入浴）支援を実施しました。

（写真は第10師団ホームページから転載）

陸自南スーダン派遣施設隊帰国行事



帰国行事に臨む南スーダン派遣施設隊

平成28年6月18日、陸上自衛隊守山駐屯地において、熊田防衛大臣政務官(当時)の臨席のもと、南スーダン派遣施設隊(第9次要員)の帰国行事が行われました。

同隊は、第10師団を中心とした約350人の部隊で、平成27年12月から、国連平和維持活動のため、約半年間、南スーダンに派遣されました。

当日は、派遣隊長である相園和宏1等陸佐が任務完了の報告を行いました。今回は、南スーダンの首都ジュバやその周辺で、道路整備などを実施しました。

今回の活動に対して、熊田防衛大臣政務官から特別賞状の伝達がされたほか、国際平和協力本部長賞も贈られました。この後、熊田防衛大臣政務官から訓示があり、「世界の平和に尽力する我が国の姿勢を国際社会に示す上で非常に重要だった」と部隊の活動を労いました。(派遣時の模様は、東海防衛だより2016／Ⅰ号に詳しく掲載されています。)



熊田防衛大臣政務官から特別賞状を伝達される相園和宏1等陸佐



型枠を設置する隊員



土のうを形成する隊員

南スーダンでの活動の状況



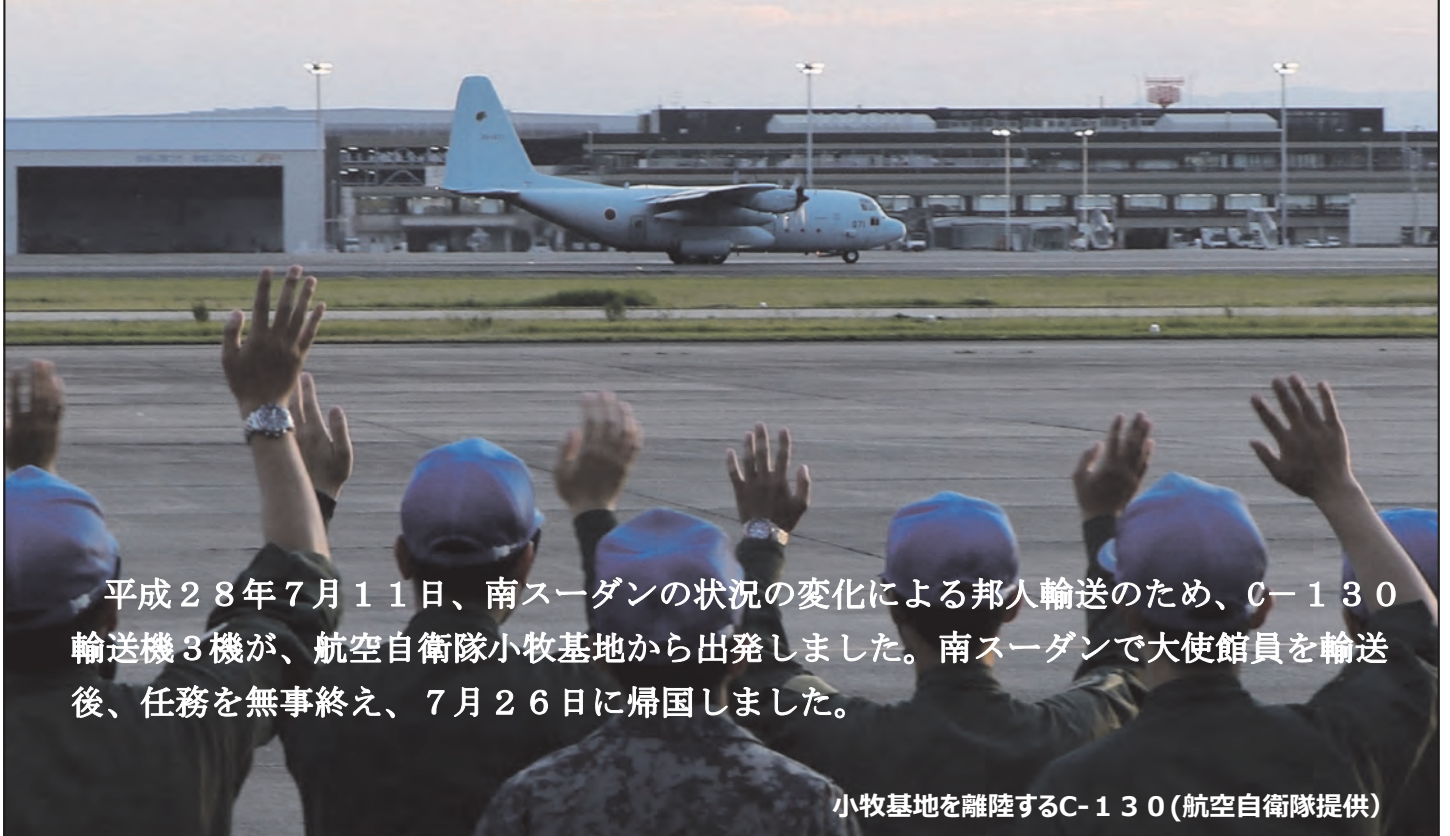
測量作業を実施する隊員



道路障害作業車による穿孔

(第10師団ホームページから転載)

空自C-130南スーダン邦人輸送へ派遣



平成28年7月11日、南スーダンの状況の変化による邦人輸送のため、C-130輸送機3機が、航空自衛隊小牧基地から出発しました。南スーダンで大使館員を輸送後、任務を無事終え、7月26日に帰国しました。

小牧基地を離陸するC-130(航空自衛隊提供)

平成28年度新規採用職員の紹介

東海防衛支局に新規採用になった職員を紹介します。出身は様々ですが、東海地方でがんばる期待の新人達です。よろしくお願ひします。



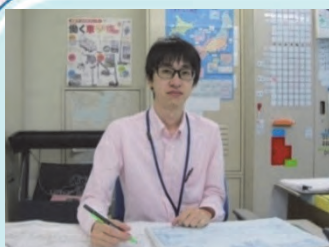
所属: 周辺環境整備課
氏名: 尾崎 勇紀
出身: 愛知県

入省して3ヶ月が過ぎ、改めて防衛省の職員として国のために働くことができ、誇りに思っております。まだまだ未熟ですが、日々勉強を重ね、よりスケールの大きい仕事に携わることが出来るよう頑張りますので、ご指導の程よろしくお願ひします。好きなスポーツは小さいころからしているバドミントンで、週末には地元のクラブで汗を流しています。



所属: 防音対策課
氏名: 松本 一晃
出身: 三重県

入省1年目とはいえ、防衛省職員である以上、プロとして活躍することが求められます。そのためには、業務を早く覚え、一人前になれるよう努力することが必要だと考えています。新しい環境での生活は大変で分からないことも多く困難な日々を過ごしていますが、周りの手助けを受け徐々に慣れつつあります。持ち前の粘り強さを発揮し、精一杯頑張ります。



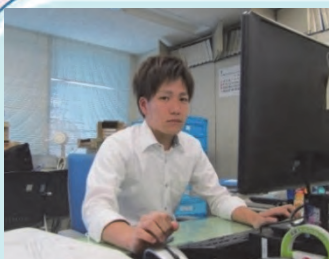
所属: 建築課
氏名: 稲葉 広誠
出身: 三重県

4月から東海防衛支局に入局し、建築課に配属されてから3ヶ月がたちますがまだまだ覚えることも多く勉強の毎日です。休日はゆったりと過ごし、仕事の時はキッチリと、メリハリのある生活を送りながら業務をしっかりとこなす課の方々と一層協力していけるようになればなと思います。これからも頑張りますのでよろしくお願ひします。



所属: 建築課
氏名: 緒方 誉央
出身: 熊本県

私は今年の3月に高校を卒業し4月より東海防衛支局に配属になりました。初めての一人暮らし、初めての仕事とそれまでの生活とは一転し不安ばかりの日々でした。そんな中で地元熊本では地震が起こり自衛官をはじめたくさんの方々が頑張っている姿を目にし、私も早く一人前の技官となれるよう頑張ろうと思いました。



所属: 土木課
氏名: 筒井 諒
出身: 三重県

東海防衛支局に配属されてから最初は不安ばかりでした。慣れない土地で一人暮らしをして仕事が終わった後も緊張している状態でしたが、最近やっと慣れてきました。土木課の皆さんには優しくしてもらい、毎日が楽しいです。早く一人前になれるように、毎日しっかり学んでいきたいと思っています。



所属: 建設計画官付
氏名: 小島 璃南
出身: 岐阜県

入局して約4ヶ月、満員電車の光景が日常と化した今日この頃です。業務にも少しずつ慣れてきましたが、まだわからない事も多く質問と確認の繰り返しです。技官として、国防を支えていけるよう、沢山のことを学び吸収して一生懸命頑張ります。休日には映画鑑賞や読書、友人との外出等でリフレッシュしています。何か良い作品があれば教えてください(^^) これからよろしくお願ひします！

業務説明会・現場説明会の開催



業務説明会



女性参加者と女性職員による座談会



参加者と新規採用職員による座談会



史料館の見学（陸上自衛隊守山駐屯地）



戦車への体験搭乗（陸上自衛隊守山駐屯地）

東海防衛支局と陸上自衛隊中部方面総監部は、平成28年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の第1次試験合格者を対象に、東海北陸地区における防衛省の業務説明会と現場見学会をそれぞれ開催し、その後の座談会では、新規採用職員、女性職員、事務系・技術系職員などのブースを設け、参加者と職員との意見交換などを行いました。

東海3県の自衛隊における行事

護衛艦「いせ」艦艇広報

平成28年6月19日、三重県四日市港霞埠頭において、自衛隊三重地方協力本部主催の「護衛艦いせ艦艇広報」が開催され、約4,000名もの来場者が訪れました。当日は雨模様で天候がたいへん心配されましたが、護衛艦「いせ」に搭乗する順番を待つ来場者の長い列ができました。

東海防衛支局も広報ブースを設け、来場者にパンフレットや当支局の広報誌の配布、業務内容の説明等を行い、防衛施策に係るご理解が得られるよう広報活動を行いました。



護衛艦「いせ」

広報ブースに集まる来場者の方々



(自衛隊岐阜地方協力本部HPより転載)

平成28年度ぎふ自衛隊音楽まつり

平成28年6月12日、岐阜県岐阜市の長良川国際会議場において、自衛隊岐阜地方協力本部の主催による平成28年度ぎふ自衛隊音楽まつりが開催され、約3,000名が来場しました。当日は、海上自衛隊舞鶴音楽隊による演奏のほか、防衛大学校儀仗隊による演技（ファンシードリル）も披露しました。



(第10師団提供)

第10音楽隊第41回定期演奏会

平成28年7月3日、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、愛知県名古屋市に所在する陸上自衛隊守山駐屯地にある第10音楽隊による第41回定期演奏会が開催され、約1,700名が来場しました。当日は、数々の名演奏を披露し、聴衆を魅了しました。

東海3県の防衛産業・技術基盤

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品を調達するにあたり、製造工程での審査や、最終的な完成検査を行っています。そこで、このコーナーでは、我が国の防衛力の基盤となる製造企業の技術力を紹介します。

【カヤバシステムマシナリー株式会社】（三重県津市）

～油圧技術のパイオニアとして～

カヤバシステムマシナリー株式会社は、大正8年創業の萱場発明研究所に遡ることができ、昭和10年に株式会社萱場製作所となりました。以後、何度かの社名変更や事業の拡大を経て現在に至っています。創業時の社名に「発明」とあるとおり、同社の強みは先進的な発明考案にあり、油圧技術のパイオニアとして、同技術を始め、機械構造技術及び制御技術の3つの核となる技術分野とその複合技術にあります。

（1）免震・制震

日本は地震多発国であり、東日本大震災、熊本地震の記憶も新しく、また台風による被害も多いところです。この地震、台風による揺れから建物を守るには、筋交い等により建物を剛性化し、地震等とともに揺れて耐える方法と、揺れを柔軟に吸収して建物を揺らさない方法とがあります。同社はオイルダンパ^{*2}、アイソレータ^{*3}等を建物に組み込むことにより、揺れを伝えない「免震^{*1}」、揺れをコントロールする「制震」の技術により建物を守っています。昭和39年の東京オリンピック時に建設された国立代々木競技場は、2本の支柱により屋根を吊るす革新的な形状をしていますが、この吊りロープに同社の制震オイルダンパ12本が使われています。これは日本で初めて建物にオイルダンパを組み込んだ例で、その後50年以上の永きにわたり地震や台風から競技場を守り続けています。近くは、東京スカイツリー、六本木ヒルズ、東京駅等に同社のビル免震・制震装置が使われ、地震国日本の労働・居住空間の安全・安心に貢献しています。

（2）防衛装備

大正13年、同社の技術に着目した海軍の強い要請により、空母「鳳翔」の発着艦装置を製造したことに始まり、その後も飛行機射出機（カタパルト）や零戦、紫電改等の緩衝脚等の製造を続けてきました。現在では、護衛艦、補給艦、輸送艦、掃海母艦に搭載される昇降機、洋上補給装置、舷側門扉・歩板、艦尾門扉等、同社が製造する艦船搭載器材は列挙に暇がありません。また航空機関係ではタイヤ組立装置や各種の航空機整備用油圧ジャッキがあります。

いずれも過酷な環境下で使用され、正確かつ故障の少ないことが要求される防衛装備品としてのニーズに適合したものです。

このように、同社が有する油圧技術等は、免震・制震装置のように社会インフラの安全性を支える役割を担うとともに、防衛分野でも機能性の向上に寄与し、性能アップを図れる優れた技術です。

（文注）*1 物体の変形しにくい性質 *2 油の粘性を利用して振動等をやわらげる装置

*3 建物とその基礎構造物の間に置かれるゴム等を組み合わせた耐震構造物






三重工場

制震オイルダンパ

掃海母艦「うらが」艦尾門扉

地本だより

地本（自衛隊地方協力本部）は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援を頂ける皆様への窓口です。

愛知地方協力本部 (電話)052-331-6266 (HP) http://www.mod.go.jp/pco/aichi/ 	<ul style="list-style-type: none"> ●陸上自衛隊第10師団創立54周年記念行事のお知らせ 日時：平成28年11月19日(土) 場所：陸上自衛隊守山駐屯地（愛知県名古屋市守山区） ＊詳細は守山駐屯地ホームページをご覧ください。
岐阜地方協力本部 (電話)058-232-3127 (HP) http://www.mod.go.jp/pco/gifu/ 	<ul style="list-style-type: none"> ●第60回ぎふ信長まつりのお知らせ 日時：平成28年10月1日(土)、2日(日) 場所：JR岐阜駅「信長ゆめ広場」（岐阜県岐阜市） ・自衛隊岐阜地方協力本部も、開催に協力しています。 ＊詳細は自衛隊岐阜地方協力本部ホームページをご覧ください。
三重地方協力本部 (電話)059-225-0531 (HP) http://www.mod.go.jp/pco/mie/ 	<ul style="list-style-type: none"> ●陸上自衛隊明野駐屯地記念行事のお知らせ 日時：平成28年10月2日(日) 場所：陸上自衛隊明野駐屯地（三重県伊勢市小俣町） ＊詳細は明野駐屯地ホームページをご覧ください。

平成28年度 自衛官等募集の日程

募集種目		資格	受付期間(締切日必着)	試験期日	合格発表
防衛 大学校 学生	一般 (前期)	高卒(見込含) 21歳未満の者 (自衛官は23 歳未満)	9月5日～9月30日	1次11月5・6日 2次12月6～10日	1次 11月25日 最終29年1月20日
	一般 (後期)		29年1月21日～27日	1次29年2月18日 2次29年3月10日	1次29年3月 3日 最終29年3月17日
防衛医科大学校 医学科学生		高卒(見込含) 21歳未満の者	9月5日～9月30日	1次10月29・30日 2次12月14～16日	1次 11月30日 最終29年2月15日
防衛医科大学校看護 学科学生(自衛 官候補看護学生)		高卒(見込含) 21歳未満の者	9月5日～9月30日	1次10月15日 2次11月26・27日	1次 11月11日 最終29年2月 3日

※詳しい情報は、防衛省及び各自衛隊地方協力本部のホームページをご覧ください。

新岐阜防衛事務所長着任（7月31日異動）



岐阜防衛事務所長
大泉光祥 1等空佐

平成28年7月の異動で、岐阜防衛事務所長を拝命しました大泉1佐です。当事務所は、空自岐阜基地内に所在し、主に航空機関連の監督・検査及び原価監査等を実施しております。所員の士気は高く、明るく楽しい事務所です。私は、空自第2補給処での勤務経験があり、岐阜への赴任は2回目、休日には旧友との親交、温泉巡りなど楽しい毎日を送っております。

東海防衛支局



名古屋市中区三の丸2-2-1名古屋合同庁舎
第1号館

(電話)052-952-8212
<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

東海防衛だより 2016年Ⅲ号（通巻第28号）
平成28年8月30日発行